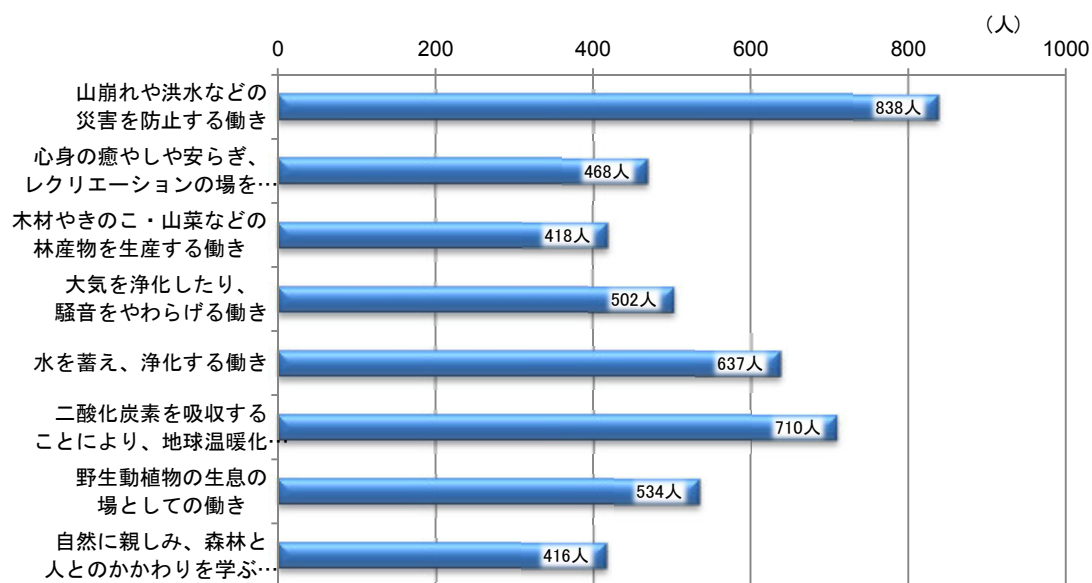


2. 全体集計

1) 問1 森林の働きについて

森林は水を育み二酸化炭素を吸収するなどの機能があり、私たちの安全で安心な暮らしを支えています。あなたは森林の働きに何を期待しますか。該当する番号をすべて○で囲んでください。

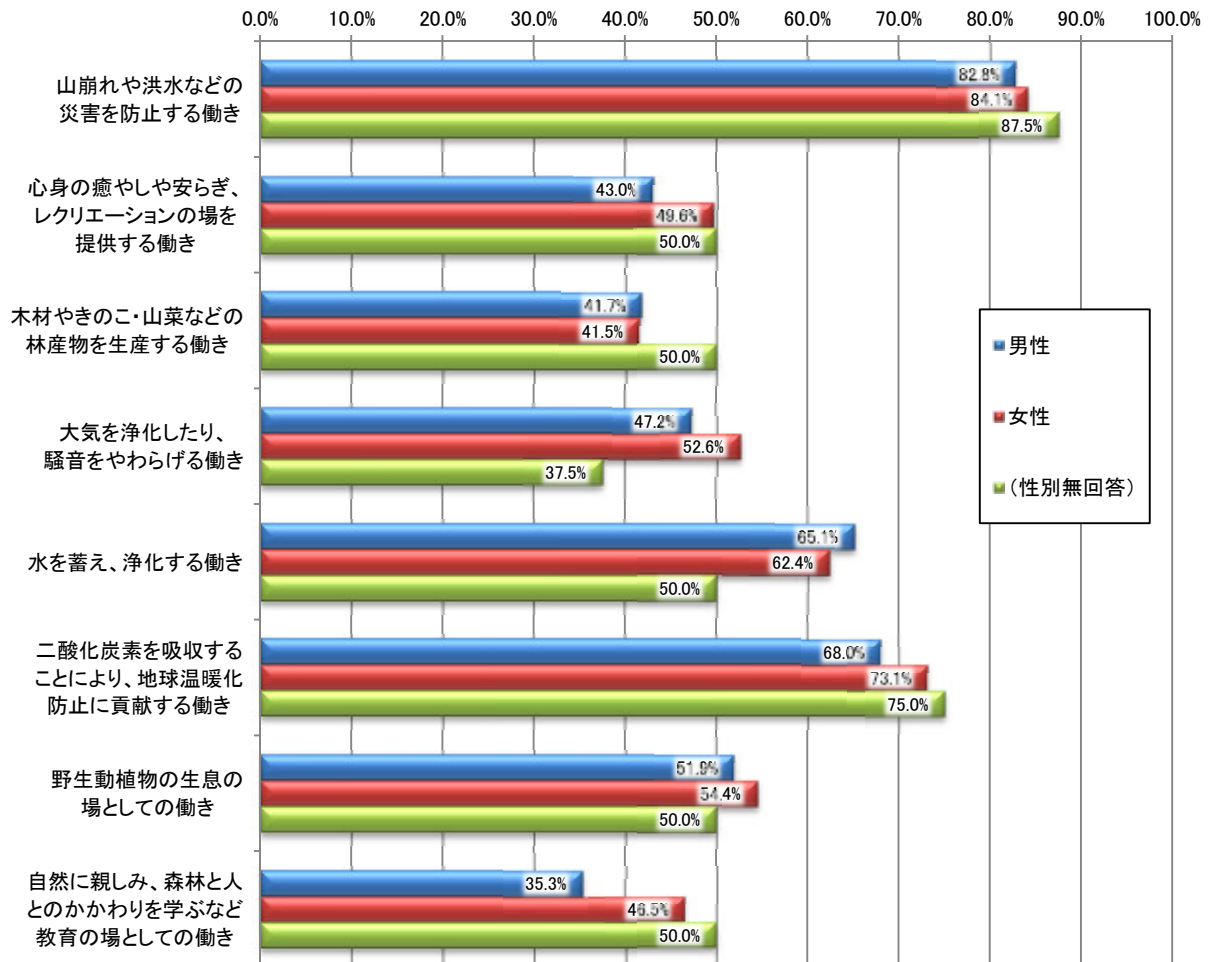
① 項目ごとの回答者数



項目	人数
山崩れや洪水などの災害を防止する働き	838
心身の癒やしや安らぎ、レクリエーションの場を提供する働き	468
木材やきのこ・山菜などの林産物を生産する働き	418
大気を浄化したり、騒音をやわらげる働き	502
水を蓄え、浄化する働き	637
二酸化炭素を吸収することにより、地球温暖化防止に貢献する働き	710
野生動植物の生息の場としての働き	534
自然に親しみ、森林と人のかかわりを学ぶなど教育の場としての働き	416
計	n=1,003

山崩れや洪水などの災害防止機能については8割の回答者から期待するとの回答があった。これ以外にも地球温暖化防止機能、水源涵養、水質保全の機能等を期待する回答が多い結果となった。一方、木材、林産物の生産や森林環境教育の場としての機能については比較的低い結果となった。

② 男女別の回答者数

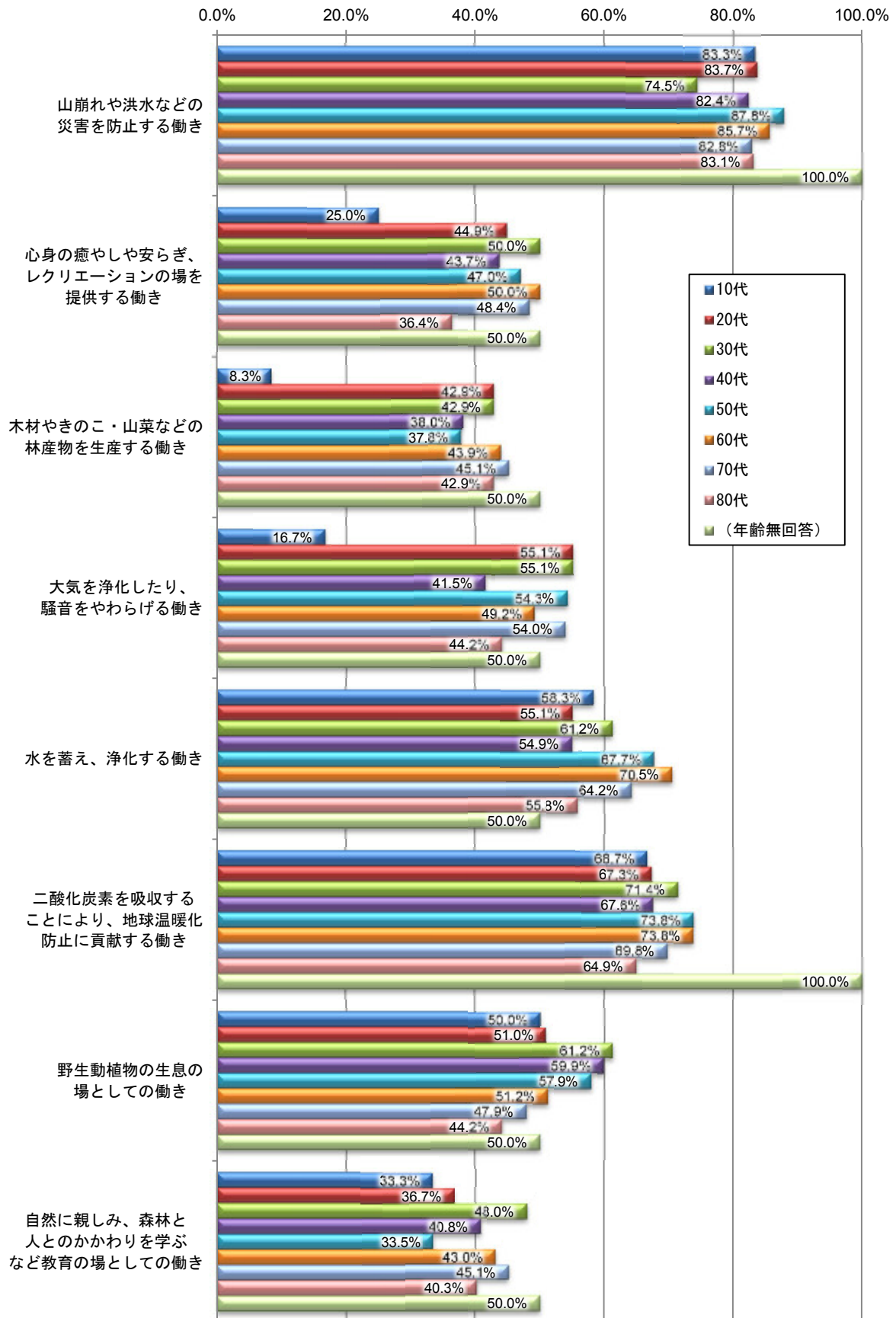


単位: %

項目	男性		女性		(無回答)	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
山崩れや洪水などの災害を防止する働き	375	82.8	456	84.1	7	87.5
心身の癒やしや安らぎ、レクリエーションの場を提供する働き	195	43.0	269	49.6	4	50.0
木材やきのこ・山菜などの林産物を生産する働き	189	41.7	225	41.5	4	50.0
大気を浄化したり、騒音をやわらげる働き	214	47.2	285	52.6	3	37.5
水を蓄え、浄化する働き	295	65.1	338	62.4	4	50.0
二酸化炭素を吸収することにより、地球温暖化防止に貢献する働き	308	68.0	396	73.1	6	75.0
野生動植物の生息の場としての働き	235	51.9	295	54.4	4	50.0
自然に親しみ、森林と人とのかかわりを学ぶなど教育の場としての働き	160	35.3	252	46.5	4	50.0

全般的に性別による差は「自然に親しみ、森林と人とのかかわりを学ぶなど教育の場としての働き」が10%以上女性からの回答が多かった以外は、特に大きな差はなかった。

③ 年代別の回答者数



番号	項目	10代		20代		30代	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	山崩れや洪水などの災害を防止する働き	10	83.3	41	83.7	73	74.5
2	心身の癒やしや安らぎ、レクリエーションの場を提供する働き	3	25.0	22	44.9	49	50.0
3	木材やきのこ・山菜などの林産物を生産する働き	1	8.3	21	42.9	42	42.9
4	大気を浄化したり、騒音をやわらげる働き	2	16.7	27	55.1	54	55.1
5	水を蓄え、浄化する働き	7	58.3	27	55.1	60	61.2
6	二酸化炭素を吸収することにより、地球温暖化防止に貢献する働き	8	66.7	33	67.3	70	71.4
7	野生動植物の生息の場としての働き	6	50.0	25	51.0	60	61.2
8	自然に親しみ、森林と人とのかわりを学ぶなど教育の場としての働き	4	33.3	18	36.7	47	48.0

番号	40代		50代		60代		70代		80代		(年齢無回答)	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	117	82.4	144	87.8	209	85.7	178	82.8	64	83.1	2	100.0
2	62	43.7	77	47.0	122	50.0	104	48.4	28	36.4	1	50.0
3	54	38.0	62	37.8	107	43.9	97	45.1	33	42.9	1	50.0
4	59	41.5	89	54.3	120	49.2	116	54.0	34	44.2	1	50.0
5	78	54.9	111	67.7	172	70.5	138	64.2	43	55.8	1	50.0
6	96	67.6	121	73.8	180	73.8	150	69.8	50	64.9	2	100.0
7	85	59.9	95	57.9	125	51.2	103	47.9	34	44.2	1	50.0
8	58	40.8	55	33.5	105	43.0	97	45.1	31	40.3	1	50.0

「木材やきのこ・山菜などの林産物を生産する働き」、「心身の癒やしや安らぎ、レクリエーションの場を提供する働き」、「大気を浄化したり、騒音をやわらげる働き」に対する10代の率が低めであることがわかった。その他の年代には特に大きな差はなかった。